

基本施策の振返りシート

基本施策	E8 安全・安心で快適な公共空間をつくります
------	------------------------

主管課：土木企画課

後期基本計画における5年後にめざす姿	
対 象	意 図
公共空間が	安全・安心で快適に利用されている。

個別施策	後期基本計画策定時の課題		後期基本計画期間の取組み
E8-1	●道路環境の整備と計画的な維持管理	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ○大橋町赤迫1号線等の補助幹線道路や生活道路の整備を実施 ○風頭町等で「車みち整備事業」を実施 ○橋梁長寿命化修繕計画等に基づく点検・補修工事を実施 ○籠町稲田町1号線(籠町工区)で無電柱化推進事業を実施
E8-1	●駐車場・駐輪場の適正な整備推進	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ○桜町駐車場の入り口を移設 ○肥前古賀駅構内での二輪車等駐車場の整備 ○パークアンドライド駐車場として民間駐車場の選定を検討 ○松ヶ枝町駐車場等で長寿命化工事や老朽化設備の更新を実施
E8-1	●交通安全に対する意識の向上	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ○幼稚園・保育園児に対する交通安全教育の実施 ○交通指導員による立哨活動 ○交通安全啓発イベント「交通安全フェスタ」への協力支援 ○交通安全キャンペーン等による啓発活動を実施 ○交通安全対策への協力者の表彰を実施 ○速度規制と路面標示等を組み合わせて面的に歩行者の安全確保を図る区域「ゾーン30」を警察・道路管理者と連携して整備 ○長崎市通学路交通安全プログラムに基づく通学路合同点検の実施及び整備 ○市道一斉点検を実施
E8-2	●市有建築物のバリアフリー化と計画的な保全の推進	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ○長崎市市有建築物耐震化実施計画に基づく耐震改修等を実施 ○災害時に拠点となる市有建築物についてエレベーター設置等でバリアフリー化を実施 ○新市庁舎建設事業を推進
E8-3	●公園のバリアフリー化・長寿命化と多様化する住民ニーズへの対応	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ○湊公園等の老朽化施設の再整備を実施 ○京泊公園等に遊具やベンチ等の整備を実施 ○夜景関連整備として鍋冠山公園のリニューアルを実施
E8-4	●市民と行政の協働による環境美化と継続的な維持管理のための市民参加の拡大	⇒	<ul style="list-style-type: none"> ○企業や市民団体等との里親協定とボランティア清掃への支援を実施 ○市民大清掃のほか、ポイ捨て・喫煙禁止キャンペーン、緑化事業等を実施 ○花のあるまちづくり事業による花苗の配布・植栽を実施 ○グリーンキャンペーンによる緑化推進の啓発活動を実施 ○高校・地域と共同した「ばらチャレンジ」を実施



成果と効果	
取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
車みち整備箇所が21箇所、補強工事を実施した橋梁数が39橋増加した。	即効性のある車みち整備事業や橋梁補強工事が進んだことで、居住環境の防災性や道路の安全性・快適性が向上した。
二輪車等駐車を1箇所増設したほか、駐車場の長寿命化対策が3駐車場、設備更新を1駐車場で実施した。	路上駐輪や長期駐輪が減少し、交通環境の向上が期待されるとともに、老朽設備の更新で利用者の安心や安全性が向上した。
交通安全教室や地域における立哨活動や啓発活動により、交通事故件数、死者数、負傷者数は減少傾向にある。	関係団体が連携した様々な取り組みにより、市民の交通安全意識の向上が図られた。
災害時に拠点となる市有建築物のエレベーターの設置率が基準値(26年度)に対し6.5%、市有建築物の耐震化率が6.4%上昇した。	災害時に拠点となる市有建築物の使いやすさや、安全性が向上し、施設の機能改善が図られた。
新市庁舎建設事業では、シンポジウムや関係団体等へのヒアリングを通じての意見や市議会での議論などを踏まえた基本設計が完了し、引き続き実施設計が進捗している。	設計作業を確実に進め、建設着手に向けた準備が図られた。
バリアフリー化した公園が13箇所、再整備した公園が27箇所増加した。	安全で快適に利用でき、楽しめる公園が増加した。
アダプトプログラムの里親数が14団体増加した結果、160団体となった。	環境美化に対する企業や自治会等の実践活動が広がっている。

問題点とその要因	
5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
道路の狭い箇所の改良事業では事業が長期化しており、また道路構造物の老朽化が進む中では維持管理費の上昇が予想される。	事業用地の確保(用地買収及び建物補償等)の難航や、限られた予算内での対応が要因となっている。
市営駐車場の老朽化が進み、大規模修繕の必要性が高まりつつあり、また、駐車場の利用ニーズとの不一致が増加傾向にある。	市営7駐車場は1970年代に3箇所、1990年代に4箇所建設され、築年数が近いものが集中している。また、利用者のニーズは社会情勢の変化などが要因となっている。
交通事故発生件数、死亡者数及び負傷者数は減少傾向にあるものの、高齢化が進む中、死傷者数における高齢者の割合は増加傾向にある。	高齢者の増加、加齢に伴う認知機能・運動機能の低下によるリスクの増加が要因として考えられる。
市有建築物の耐震化において、今後の計画が定まっていない施設が存在する。	移転や用途廃止等を検討しているものが多いことが要因となっている。
多様な市民ニーズがある中で、健康遊具や複合遊具等の整備に十分対応できていない。	限られた予算内での対応が要因となっている。
アダプトプログラムでは近年脱退する団体が見受けられる。	構成員の高齢化や、事業所の閉鎖等が要因となっている。

市民の評価

満足度・期待度	評価	満足度	0.16	35位 / 43項目中	
	強化	期待度	1.27	16位 / 43項目中	

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

【前期計画】

指標名	基準値 (時期)	区分	H23	H24	H25	H26	H27	
無電柱化整備延長[累計]	6,230m (21年度)	↑	目標値	6,500	6,721	6,980	6,980	
			実績値	6,526	6,630	6,842	6,980	
			達成率	100.4%	98.6%	98.0%	100.0%	
バリアフリー化した公園の箇所数[累計]	10箇所 (21年度)	↑	目標値	28	32	43	47	50.0
			実績値	29	39	43	47	50.0
			達成率	103.6%	121.9%	100.0%	100.0%	100.0%
【補助代替指標】 市有建築物の耐震化率 (学校・公営住宅を除く) ※	59.9% (21年度)	↑	目標値	66.7	76.6	85.6	89.9	90.0
			実績値	71.8	79.3	84.0	87.1	89.6
			達成率	107.6%	103.5%	98.1%	96.9%	99.6%

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	H31	H32	
車みち整備箇所数[累計]	2箇所 (26年度)	↑	目標値	10.0	16.0	22.0	24.0	26.0
			実績値	9.0	17.0	25.0		
			達成率	90.0%	106.3%	113.6%		
市有建築物の耐震化率 ※1 (学校・市営住宅を除く)	87.1% (26年度)	↑	目標値	91.0	92.4	93.4	94.4	95.0
			実績値	91.7	92.5	93.5		
			達成率	100.8%	100.1%	100.1%		
バリアフリー化した公園の箇所数[累計]	47箇所 (26年度)	↑	目標値	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0
			実績値	54.0	59.0	60.0		
			達成率	101.9%	105.4%	101.7%		

※1 平成29年度以降の目標値を「長崎市市有建築物耐震化実施計画」に合わせて修正。

【後期計画の成果指標の検証】

成果指標	成果指標の検証
車みち整備箇所数[累計]	「道路」の快適性を測る指標として、道路整備の一環である車みち整備は長崎市独自の取り組みで即効性がある事業であり、その進捗は目指す姿への成果につながるものであることから選定は適していると考えられる。
市有建築物の耐震化率※1 (学校・市営住宅を除く)	「市有建築物」の安心や安全性を測る指標として、災害時の拠点等で建築物の耐震性能の向上は重要であり、その進捗は目指す姿への成果につながるものであることから選定は適していると考えられる。
バリアフリー化した公園の箇所数 [累計]	「公園」の安全性や快適性を測る指標として、バリアフリー化の進展は高齢社会での生活環境機能の向上において重要であり、その進捗は目指す姿への成果につながるものであることから選定は適していると考えられる。

※成果指標の適否の判断基準を参考に成果指標の検証を記載

成果指標の適否の判断基準

- (1) 施策全体の成果を表したものであったか。
- (2) 市が施策を進めることで成果につながる指標であったか。
- (3) 時代の変化に伴い、さらに適した他の指標がなかったか。
- (4) 目標値の設定が適切であったか。

長崎市総合計画審議会からの意見等に係る対応状況表(平成30年度開催分)【各基本施策】

施策名	基本施策 主管課	指摘・意見・提案	回答課	処理状況				番号	
				完結	処理中	その他	具体的内容		
				対応済	対応不可	対応中	対応予定	検討中	
基本施策E8 安全・安心で快適な公共空間をつくります	土木企画課	指摘・意見・提案	地域整備1課	●					令和元年度における対応(予定) ※R元当初予算対応含む
		○ 天主公園の再整備について、長崎大学の学生や市民の方が熱心にワークショップを行っていた。そういうことも記載してほしい。	地域整備1課			●			天主公園では、地域住民が参加するワークショップにおいて、公園整備の内容について検討を行っている。今後は、ワークショップ等の活動についても記載していきたい。
		○ 整備した公園数が指標となっているが、整備した結果の利用者の声や使用方法についてのモニタリングが必要ではないか。	地域整備1課 地域整備2課			●			公園の再整備やバリアフリー化にあたっては、設置する施設や整備内容について、地元自治会、利用者及び障がい者関係団体等の意見を踏まえ、設計・工事を行っているが、公園整備後の検証については検証手法も含めて検討したい。
		○ 道路上のポイ捨てやゴミへの対処はされているが、道路上のゴミは川へ流れていくので川についても意識してほしい。	地域整備1課 地域整備2課 廃棄物対策課		●				河川については、アダプトプログラムやボランティアによる清掃が実施されている他、パトロールや廃棄物対策課からの情報提供などにより、不法投棄があった場合は、その都度対応を行っている。
		○ 無電柱化について、長崎市の場合無電柱化は道路幅があるところで地下管をつくる方法で進められているが、まちなかや観光地周辺の幅員がないところは今の方法ではなかなか難しい。研究はされたと思うが、無電柱化には軒先の利用や、敷地の裏の利用など様々な方法があるので長崎の重要なまちなかに関しましては、あらゆる方法で無電柱化を進めてほしい。	土木企画課				●		無電柱化にあたっては、防災、安全・円滑な交通の確保だけでなく、景観形成・観光振興等の観点からも整備路線の検討を行っている。観光地周辺等においては地形上、地中化が難しい場所もあることから、軒先配線等の整備手法も含めて検討していきたい。
	○ 駐車場について、附置義務に係る条例の問題により、まちなかに関し無電柱化を進めざるを得ない状況になっている。2、30年前に比べてまちづくりの考え方は、コンパクトシティ・ネットワークの方向に移っている。駐車場が本場に必要かどうかどうかも含めて検討してほしい。	土木企画課				●		平成31年度に駐車・駐輪実態調査を行った上、駐車場施策の基本方針を定めた「長崎市駐車場整備計画」の見直しを行う予定であり、この計画の見直しの中で「長崎市建築物における駐車施設の附置及び管理に関する条例」の在り方について検討したい。	

長崎市総合計画審議会からの意見等に係る対応状況表(平成30年度開催分)【各基本施策】

施策名	基本施策 主管課	指摘・意見・提案	回答課	処理状況				番号			
				完結	処理中	その他	具体的内容				
				対応済	対応不可	対応中	対応予定	検討中	その他		
		<p>○ 自治会公民館の耐震化については、市の建物ではないので難しいところではあるが、具体的な耐震判定や耐震補強の方法などの道筋をつくり、自治会が持つ公民館の耐震性を上げていかなければ地域の安全性を担保できないと考え、そのルールづくりをお願いしたい。</p>	<p>財産活用課 自治振興課</p>					●	<p>自治会所有の公民館については、市の建物でないのルールづくりは困難であるが、耐震診断や耐震補強の方法などを関係課の協力を得ながら周知したい。また、自治会集会所建設奨励補助金により、自治会が一定の補助を受けて耐震工事を施工できる場合もあるため、このような制度の活用について提案したい。</p>	6	
		<p>○ パークアンドライドについては、渋滞対策や環境問題に関わるが、JRとの取組みあるいは民間の大型商業施設との連携や、高速道路では佐賀県の基山でパークアンドライドで一定成果が上がってきた。スピード感を持って進めてほしい。</p>	<p>土木企画課</p>					●	<p>郊外部の大規模店舗等に附属する駐車場の一部を、駐車需要の低い平日に限りパークアンドライド駐車場として利用する「店舗利用型パークアンドライド」について、都市圏の交通円滑化を図るため関係機関で組織される「長崎県交通渋滞対策協議会」において、今後実施予定の対策として位置付けを行い、実現に向けた調整を進めている。</p>	7	
		<p>○ ポイ捨て、喫煙禁止条例の周知について、外国人に対するPRについては、観光部局や同じ問題を抱える佐世保市などと連携し、情報共有しながら進めてほしい。</p>	<p>廃棄物対策課</p>					●	<p>文化観光部が平成30年度作成した外国人観光客向けマンガパンフレット、DVD、ステッカーを活用し、バス会社等の協力を得て周知に努める。</p>	8	
		<p>○ 今、クルーズ船の増加や、世界遺産登録で観光客の増加が見込まれるなか、駐車場不足や渋滞の問題がある。E7「道路交通の円滑化を図ります」と密接な関係があるので、関係部局と情報共有を進めてほしい。</p>	<p>土木企画課 都市計画課</p>					●	<p>県などの関係部局と情報共有を図りながら駐車場不足や渋滞への対応を図っていききたい。 公共交通の利便性向上と利用促進の取組みは、駐車場不足や渋滞問題の対策の一環となることから、引き続き情報共有を行いたい。</p>	9	
		<p>○ 車みち整備事業について、長崎市の素晴らしい制度だと思ふ。どんどん頑張ってもらいたい。市民の認知度が低いのではないかと考える。もっと大々的にPRするとより進むのではないかと考える。</p>	<p>土木建設課</p>						●	<p>車みち整備事業は、地元要望・議会要望・行政提案に区分して進めているが、その中の行政提案の分は、斜面市街地の市道調査を行い整備可能箇所は、地元自治会に提案を行っている。また、制度や整備した箇所については整備前後の写真を市のホームページにも記載し、周知を図って事業を行っている。</p>	10

令和元年度 基本施策評価シート

作成日	令和元年5月31日
-----	-----------

基本施策	E8 安全・安心で快適な公共空間をつくります		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	公共空間が	安全・安心で快適に利用されている。	
基本施策主管課名	土木企画課	所属長名	長瀬 雅彦
関係課名	土木建設課、財産活用課、建築課、自治振興課、廃棄物対策課、大型事業推進室、中央総合事務所地域整備1課		

基本施策の評価

Ab 目標を達成しており、目的達成に向けて概ね順調に進んでいる

判断理由

基本施策の成果指標のすべてが100%以上の目標達成率となったことから、「A」とする。
個別施策の成果指標8つのうち、過半数の6つの成果指標において100%以上の目標達成率となったことから「b」とする。

【評価判断に至った成果・効果及び問題点・その要因】

- (1)「だれもが安全・快適に利用できる道路の整備を進めます(E8-1)」
 - ・車みち整備事業は、要望路線において地元協議を行った。また、上小島地区などで整備を実施し、車の乗り入れ可能な道路が増えたことにより、居住環境の改善と防災性の向上が図られた。
 - ・橋梁長寿命化修繕計画に基づき、橋梁の補修工事を実施し、道路の安全性や快適性が向上した。
- (2)「安全・安心な市有建築物への改善を進めます(E8-2)」
 - ・「長崎市市有建築物耐震化実施計画」に基づき、市所有の特定建築物及び災害時の拠点となる建築物等の計画的な耐震化の推進に積極的に取り組むため、「対象建築物」の年次計画等を具体的に定め、耐震改修工事や用途廃止等を実施したことにより、安全性が向上した。
- (3)「だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めます(E8-3)」
 - ・既設公園施設のバリアフリー化や老朽化施設の再整備の事業が進捗し、公園利用者の安全性と快適性の向上が図られた。
- (4)「地域環境美化を推進します(E8-4)」
 - ・企業等と協働したアダプトプログラムは、ホームページ等による周知活動により制度の認知が進み、里親登録数が増加したことで、環境美化に対する実践活動が拡大した。
 - ・緑化エリアの拡大や自治会・ボランティア団体への花苗配布を増やすなどで緑化花いっぱい運動を推進し、地域環境美化の推進が図られた。
- (5)基本施策の結果については、車みち整備事業や耐震改修工事、公園のバリアフリー化が実施されたことにより全ての成果指標が目標を達成している。また、通学路の合同点検や公園の再整備、環境美化活動の推進が図られていることから、個別施策成果指標においても8つのうち過半数以上の指標が目標値を達成しているため上記のとおり評価したもの

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指標名	基準値 (時期)	区分	H28	H29	H30	R元	R2
車みち整備箇所数[累計]	2箇所 (26年度)	目標値	10.0	16.0	22.0	24.0	26.0
		実績値	9.0	17.0	25.0		
		達成率	90.0%	106.3%	113.6%		
市有建築物の耐震化率 ※1 (学校・市営住宅を除く)	87.1% (26年度)	目標値	91.0	92.4	93.4	94.4	95.0
		実績値	91.7	92.5	93.5		
		達成率	100.8%	100.1%	100.1%		
バリアフリー化した公園 の箇所数[累計]	47箇所 (26年度)	目標値	53.0	56.0	59.0	62.0	65.0
		実績値	54.0	59.0	60.0		
		達成率	101.9%	105.4%	101.7%		

※1 平成29年度以降の目標値を「長崎市市有建築物耐震化実施計画」に合わせて修正。

今後の取組方針

- (1)道路の安全性及び快適性の向上を目的に、今後も生活道路の整備や通学路の安全対策に努める。
- ・事業着手している生活道路の早期完成に努めながら、即効性のある「車みち整備事業」も含め、より効率的な事業見直しを進める。
 - ・橋梁を含め道路構造物の計画的かつ予防的な点検・管理・補修に努める。
 - ・駐車場では運営方法の見直しを図り利便性向上に努める。
 - ・交通安全教育(ソフト面)、交通安全施設(ハード面)の両面から交通安全を推進する。
- (2)市有建築物の安全性と機能性の向上を図り、市民の方々が安全・快適に利用できる公共施設となるよう計画的に庁舎整備を進める。
- ・公共施設マネジメントと整合を図りながら、耐震化率の向上と施設のバリアフリー化(エレベーター設置)を継続する。
 - ・新市庁舎建設事業では、市民が利用しやすく、安全・安心の拠り所となる庁舎として、整備を着実に進めていく。
- (3)公園の再整備については、子どもから高齢者まで、だれもが快適に利用ができるよう、施設のバリアフリー化に努めるとともに、地域のニーズに対応した公園整備を行う。
- ・利用者が安全に楽しく公園を利用できるように、今後も老朽化した施設の再整備を推進する。
 - ・幅広い年齢層に対応できるように地域のニーズを把握しながら健康遊具や遊具等施設の再整備を検討し整備を行う。
- (4)市民との協働による地域環境美化の推進と環境美化意識の向上を図る。
- ・アダプトプログラム及びボランティア清掃については支援を継続し、更なる制度の周知に努める。
 - ・花のあるまちづくり事業において、自治会等地域団体と協働した環境美化を進める。
 - ・「ポイ捨て・喫煙禁止条例」の周知徹底に向けて、巡回指導等を継続して実施する。

二次評価(施策評価会議による評価)

- 基本施策の評価「Ab」については、所管評価のとおり。
【振返り】
- 「公共施設マネジメント」の視点や「選択と集中」の考え方を第五次総合計画に向けて取り入れる必要がある。

令和元年度 個別施策評価シート

個別施策	E8-1 だれもが安全・快適に利用できる道路の整備を進めます		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	道路が	安全・快適に利用されている。	
個別施策主管課名	土木企画課	所属長名	長瀬 雅彦

平成30年度の取組概要

- ①道路環境の改善と施設の長寿命化への推進
- ・密集市街地などの斜面地において、居住環境の改善と防災性の向上を図るため、要望路線において地元協議を行い、風頭町3号線ほか7路線の車みち整備を進めた。このうち、上小島17号線ほか1線と立山西山1号線が完成した。【E5-3へ再掲】
 - ・斜面市街地再整備事業を実施している8地区においては、生活道路の整備を行い、延長L=295mの供用を開始した。【E5-3へ再掲】
 - ・橋梁長寿命化修繕計画及び橋梁定期点検の結果に基づき13橋の補修工事を実施した。
- ②効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進
- ・市民会館地下駐車場や松が枝町駐車場、松が枝町第2駐車場において、建物躯体の長寿命化修繕工事や老朽化した設備の更新を実施した。
 - ・利便性が低く、機械主要部品の老朽化が進んでいる茂里町地下駐車場について、利便性が高い平面自走式駐車場への再整備を行うために測量設計及び関係者協議を行った。
 - ・将来必要となる駐車場施設の整備に要する経費を積み立てるため、駐車場施設整備基金を設置した。
- ③交通安全意識の向上と対策の推進
- ・幼稚園・保育園に対する交通安全教室の実施による交通安全指導及び交通指導員による小学生等への交通安全指導、並びに長崎市交通安全母の会連合会主催による交通安全啓発イベント「交通安全フェスタ」への参加協力及び警察署・交通安全協会との協働による春・夏・秋・年末の交通安全キャンペーン等による啓発活動を実施した。
 - ・長崎市の交通安全対策に長年協力された個人・団体について、表彰並びに表彰候補者の推薦を行った。(平成30年度は、長崎市交通安全協力者表彰は44名・1団体)
 - ・平成28年2月に策定した「長崎市通学路交通安全プログラム」に基づき、学校や地元自治会、警察など関係機関と連携して通学路の合同点検を行い、危険個所の改善に努めた。
 - ・市道一斉点検を実施し、危険個所の改善に努めた。

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R元	R2
補強工事を実施した橋梁数[累計]	17橋 (26年度)	↑ 目標値	46.0	57.0	80.0	99.0	122.0
		実績値	34.0	43.0	56.0		
		達成率	73.9%	75.4%	70.0%		
違法駐車等防止重点地域における路上駐輪台数	108台 (26年度)	↓ 目標値	110.0	100.0	90	80.0	70.0
		実績値	66.0	82.0	49		
		達成率	140.0%	118.0%	183.7%		
【補助代替指標】 通学路の合同点検の実施数※	0箇所 (26年度)	↑ 目標値	17.0	22.0	20.0	20.0	20.0
		実績値	9.0	24.0	30.0		
		達成率	52.9%	109.1%	150.0%		

※通学路を自治会、警察及び道路管理者が合同で点検することで各視点からの道路危険箇所の抽出と施策の目的を達成するため多くの意見を聴取することができる。

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
<p>①道路環境の改善と施設の長寿命化への推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「車みち整備事業」を実施し、車の乗入れが可能な道路が増えたことにより、居住環境の改善と防災性の向上が図られた。【E5-3へ再掲】 ・大正橋1ほか12橋の補修工事実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・密集市街地などの斜面地において、車みち整備事業が進んだことにより、居住環境と防災性が向上した。また、斜面地に住み続けられる環境が向上したことで長崎の夜景の維持にも貢献した。【E5-3へ再掲】 ・道路の安全性や快適性が向上した。
<p>②効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茂里町地下駐車場の再整備に着手したほか、市民会館地下駐車場や松が枝町駐車場における建物躯体の長寿命化修繕工事や、松が枝町第2駐車場における老朽化した設備の更新が完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場の長寿命化修繕工事や老朽設備の更新により、利用者の安全・安心が確保され、道路の円滑化が図られた。
<p>③交通安全意識の向上と対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未就学児等を対象とした交通安全教育や各地域における交通安全に関する立哨活動や啓発活動等により、前年度と比較して交通事故件数、死者数、負傷者数はすべて減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全意識の向上に向けた様々な取り組みにより、利用者の安全安心が図られた。

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
<p>①道路環境の改善と施設の長寿命化への推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活道路の危険箇所については順次対応を行っているが、整備が完了していないところもある。 ・道路の狭あい箇所の改良に必要な事業用地の確保(用地買収及び建物補償等)が難航し、事業が長期化している。【E5-3へ再掲】 ・橋梁長寿命化修繕計画及び橋梁定期点検の結果に基づき、計画的かつ予防的な管理を行うことで道路利用者の安全性は向上したものの、橋梁を含む多くの道路構造物の老朽化が進む中で、維持管理費の上昇が予想される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路構造物等の老朽化の進行に伴う維持管理費用が増加するが、限られた予算内での対応となるため優先順位が問題となる。
<p>②効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市営駐車場の老朽化が進み、大規模修繕の必要性が高まることに加え、ライフスタイルの変化などにより駐車場の利用ニーズとの不一致が増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市営7駐車場は、1970年台に3箇所、1990年台に4箇所を建設しており、築年数が近い施設が集中している。このため、老朽化による施設の不具合が一斉に生じている。また、建設時からの社会情勢の変化により、自動車のハイライフ化、精算におけるキャッシュレス化等の駐車場に求められる機能も変化している。
<p>③交通安全意識の向上と対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通事故発生件数、死亡者数及び負傷者数は減少傾向にあるものの、高齢化が進む中、死傷者数における高齢者の割合は増加傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加、年齢に応じた交通安全意識の不足、自己の自動車運転技術に対する過剰な自信が要因として考えられる。

今後の取組方針

①道路環境の改善と施設の長寿命化への推進

・斜面市街地再生事業については、事業着手している生活道路の早期完成に努めるとともに、未着手部分については、急速な人口減少と高齢化に対応するため、「車みち整備事業」など即効性のある事業も含め、より効果的な事業への見直しを進め、引き続き、防災性の向上及び居住環境の改善の推進に取り組む。【E5-3へ再掲】

・安全・快適な暮らしの実現のため、今後も積極的に生活道路の点検調査や整備を行い、通学路や生活道路の安全対策に努める。

・都市部における交通渋滞の解消、安全性の向上を図るとともに合併地区における生活道路の安全性と快適性の向上のため、引き続き道路整備に努める。

・橋梁を含め道路構造物の計画的かつ予防的な点検・管理・補修に努める。

②効果的な駐車対策と駐輪場の整備の促進

・駐車場施設整備基金への積み立てを進め、短期間に大規模な投資が生じると見込まれる将来の大規模修繕等に備えるとともに、運営に際しては、民間ノウハウの一層の発揮による利便性向上を図るため、利用料金制による指定管理者制度へ移行する。

③交通安全意識の向上と対策の推進

・交通安全教育(ソフト面)、交通安全施設(ハード面)の両面から交通安全を推進する。特にソフト面については、事業の成果が目に見えにくい、関係団体と連携し、活動を継続する。

・第10次長崎市交通安全計画(平成28年度～平成32年度)において、重点施策として「高齢者及び子どもの安全対策の充実・強化」を掲げており、関係機関・団体と連携・協力して高齢歩行者、運転者に対する交通安全教育等を推進する。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
1	<p>(事業名) 【補助】道路新設改良事業 大橋町赤迫1号線</p> <p>【土木建設課】</p> <p>(事業目的) 国道206号に接続する本市道は、幅員が狭く車両の離合が困難であることから、拡幅による安全性の確保を図るとともに、JR長崎本線との立体交差化により近接する中園踏切の交通量を軽減することで、交通の円滑化と安全性の向上を図るため整備するものである。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成20～令和2年度 【総事業量】L=60m、W=10.5m 【総事業費】892,000千円 【事業費累計】503,362千円</p>	実施年度	平成20～令和2年度	
		成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	55.1 %	66.2 %
		実績値	42.0 %	56.4 %
		達成率	76.2 %	85.2 %
		決算(見込)額	170,100,000 円	129,066,797 円
		当該年度執行率	59.3 %	59.8 %
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
		取組実績、成果・課題等	(取組実績) 基本協定については、工事費が当初より50%以上増額となり、別途協定が必要なため、安全上支障のない工事までとして基本協定及び実施協定を締結した。 (成果・課題等) 交通規制について、地元との調整に不測の日数を要し、115,817千円繰越した。 九州旅客鉄道株式会社への委託工事となるものの透明性を確保できるよう、緊密に連携し、事業の進捗管理を行って行く必要がある。	(取組実績) JR長崎本線との立体交差部において、ボックスカルバート工を実施した。 (成果・課題等) 土質が想定と異なり、工法の検討に不測の日数を要したため、86,751千円を繰り越した。 JR長崎本線との立体交差部は、九州旅客鉄道株式会社への委託工事となるため、透明性の確保と緊密な連携による事業の進捗を図る。
		2	<p>(事業名) 【単独】道路新設改良事業 車みち整備</p> <p>【土木建設課】</p> <p>(事業目的) 密集市街地の斜面地において、居住環境の改善と防災性向上のため、車が乗り入れできない市道や里道を「車みち」として整備するものである。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】I期：平成25～30年度 II期：令和元～令和5年度 【総事業量】22路線 7路線 【総事業費】1,000,000千円 380,000千円 【事業費累計】719,655千円</p>	実施年度
成果指標	事業進捗率(事業費ベース)			
目標値	67.3 %			86.1 %
総事業進捗率	57.9 %			72.0 %
達成率	86.0 %			83.6 %
決算(見込)額	215,111,037 円			140,639,868 円
当該年度執行率	69.7 %			49.9 %
成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。			
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 出雲6号線、立山西山1号線、上小島3号線、上小島27号線、上戸町戸町1号線、御船蔵町銭座町1号線の合計6路線、工事L=771mと新戸町33号線ほか4路線の測量設計を実施した。 (成果・課題等) 斜面市街地における居住環境の改善や防災性の向上に向けて整備が図られた。 地元調整に時間を要したため、5路線、140,450千円を繰り越した。 今後も地元の協力を得るとともに調整を図りながら、車みち整備の進捗を図る。			(取組実績) 上小島17号線、上小島28号線、立山西山1号線の合計3路線、工事L=350mと江平13号線の詳細設計を実施した。 (成果・課題等) 斜面市街地における居住環境の改善や防災性の向上に向けて整備が図られた。 地元調整に時間を要したため、5路線、140,450千円を繰り越した。 今後も地元の協力を得るとともに調整を図りながら、車みち整備の進捗を図る。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
3	<p>(事業名) 【補助】道路新設改良事業費 道路構造物等補強</p> <p>【中央総合事務所地域整備1課】 【中央総合事務所地域整備2課】 【北総合事務所地域整備課】 【南総合事務所地域整備課】 【東総合事務所地域整備課】</p> <p>(事業目的) 市民が安心して道路を利用できるよう、橋梁など道路構造物等の適正な維持管理に努める。</p> <p>(事業概要) 長寿命化修繕計画及び定期点検の結果に基づき、道路構造物等を計画的かつ予防的な補修等を行うことで耐久性の向上を図り、道路利用者の安全確保と第三者の被害を未然に防ぐ。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成19～令和5年度 【総事業量】150橋 【総事業費】2,309,500千円 【事業費累計】1,291,952千円</p>	実施年度	平成19年度～令和5年度	
		成果指標	補強工事を実施した橋梁数[累計]	
		目標値	57 橋	80 橋
		総事業進捗率	43 橋	56 橋
		達成率	75.4 %	70.0 %
		決算(見込)額	263,488,306 円	182,452,281 円
		当該年度執行率	100.0 %	100.0 %
		成果指標及び目標値の説明	橋梁長寿命化修繕計画及び橋梁定期点検の結果に基づき補修工事を実施した橋梁数(累計)を成果指標とした。 計画期間である令和5年度までに、橋梁150橋の補修工事を実施することを目標としており、平成30年度の目標値を80橋とした。	
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 橋梁長寿命化修繕計画において、補修が必要とされる150橋のうち、平成29年度末までに43橋が完了した。</p> <p>(成果・課題等) 国庫補助額が見込みを下回り、達成率は目標の約8割という結果ではあるが、平成29年度は9橋の補修工事完了により、利用者等の安全性の向上に繋げることができた。 しかしながら、継続している定期点検等の結果において、新たに補修が必要な橋梁や暗渠などが抽出されていることから、効率的かつ速やかな対応が望まれる。</p>	<p>(取組実績) 橋梁長寿命化修繕計画において、補修が必要とされる150橋のうち、平成30年度末までに56橋が完了した。</p> <p>(成果・課題等) 補修工事費用などの増加により達成率は目標の7割という結果ではあるが、平成30年度は13橋の補修工事完了により、利用者等の安全性の向上に繋げることができた。 しかしながら、継続している定期点検等の結果において、新たに補修が必要な橋梁や暗渠などが抽出されていることから、効率的かつ速やかな対応が望まれる。</p>

令和元年度 個別施策評価シート

個別施策	E8-2 安全・安心な市有建築物への改善を進めます		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	市有建築物が	長期にわたり安全に安心して利用されている。	
個別施策主管課名	財産活用課	所属長名	笈木 和幸

平成30年度 of 取組概要

- ①市有建築物の安全性・利便性の向上
- ・長崎市市有建築物耐震化実施計画に基づき、市所有の特定建築物及び災害時の拠点となる建築物等の計画的な耐震化の推進に積極的に取り組むため、「対象建築物」の年次計画等を具体的に定め、平成30年度は、1件の耐震改修(三重地区公民館)を実施した。また、1件の移転(出津地区公民館)に伴い、1件の用途廃止(旧出津地区公民館)を行った。
 - ・本庁舎等の老朽化が進んでいる施設について、機能の保全と使用者の安全性確保のため、南総合事務所の空調設備や式見合同庁舎の屋上防水など5件の改修工事を実施した。
- ②市有建築物のバリアフリー化の推進
- ・平成30年2月末日をもって閉館した「外海子ども博物館」を改修し、平成30年9月1日より出津地区公民館として機能移転を行った。併せて、公民館には可搬型階段昇降機を設置した。(1件)
- ③新市庁舎建設事業の推進
- ・実施設計に着手し、シンポジウムや障害者団体等の関連団体へのヒアリング等で意見を頂きながら、設計作業を行った。
 - ・平成29年度に引き続き、建設予定地における埋蔵文化財調査を行った。

成 果 指 標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R元	R2
災害時に拠点となる市有建築物のエレベーター設置率(学校・市営住宅を除く)	68.8% (26年度)	↑ 目標値	73.8	78.8	83.8	88.8	94.0
		実績値	72.7	74.0	75.3		
		達成率	98.5%	93.9%	89.9%		
市有建築物の耐震化率※1 (学校・市営住宅を除く) 【補助代替指標】※2	87.1% (26年度)	↑ 目標値	91.0	92.4	93.4	94.4	95.0
		実績値	91.7	92.5	93.5		
		達成率	100.8%	100.1%	100.1%		

※1 平成29年度以降の目標値を「長崎市市有建築物耐震化実施計画」に合わせて修正。

※2 安全安心な市有建築物への改善の指標として、エレベーター設置率だけでは建物自体の安全性が不明確であるため耐震化率を補助代替指標として追加するもの。

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
①市有建築物の安全性・利便性の向上 ・1件の耐震改修、1件の移転、1件の用途廃止を行ったことにより、耐震化率が向上した。 ・庁舎等の建物や設備の改修を5件実施した。	・耐震化率が上昇したことにより、安全性が向上した。 ・建物の劣化を防止するとともに、施設の機能改善が図られた。
②市有建築物のバリアフリー化の推進 ・EV無しの2階建て施設から平屋建て施設(一部階段昇降機対応)に機能移転したことにより、バリアフリー化の推進につながった。	・バリアフリー化の推進により、災害時に拠点となる市有建築物の使いやすさが向上した。
③新市庁舎建設事業の推進 ・市民が利用しやすく、安全・安心の拠り所となる庁舎とするため、シンポジウムや障害者団体などの関係団体へのヒアリングなどを通じて多くの意見を頂くとともに、市議会での議論を踏まえながら実施設計を進めることができた。	・設計作業を着実に進め、令和元年度からの建設着手に向けた準備が図られた。

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
①市有建築物の安全性・利便性の向上 ・市有建築物の耐震化率は、当該年度の目標値は上回ったものの、今後の計画が定まっていない施設も存在する。 ・本庁舎、総合事務所、地域センターなどの公共施設は、災害時に重要な役割を有するが、中には老朽化等により安全性や利便性が低下した施設があり、施設の改修が進んでいない。	・対象施設には移転や用途廃止等を検討しているものが多く、現時点では時期が未確定なため。 ・施設の改修計画をもとに整備の予定を立てているが、老朽化している施設が多く、突発的に故障が生じるなどにより、計画通りに整備が進まないため。
②市有建築物のバリアフリー化の推進 ・平成30年度の実績値は75.3%と目標値の83.8%を下回っており、全体の事業の進捗率が遅れている。	・バリアフリー化を図る対象施設については、施設の老朽化や社会環境の変化に対応した機能の配置等を踏まえる必要があり、事業検討中のものも多くあるため。

今後の取組方針

①市有建築物の安全性・利便性の向上 ・今後は公共施設マネジメントと整合を図りながら、耐震化率の向上に向け、未対応の市有建築物の耐震化を継続する。 ・庁舎等の施設整備については、優先的に整備する施設を精査して、施設整備を進める。
②市有建築物のバリアフリー化の推進 ・施設のバリアフリー化(エレベーター設置)については、公共施設マネジメントと整合を図りながら継続して進める。
③新市庁舎建設事業の推進 ・建設工事に着手し、市民が利用しやすく、安全・安心の拠り所となる庁舎として、整備を着実に進めていく。 ・円滑な交通アクセスを確保するため、道路管理者や交通管理者、交通事業者等の関係機関とは今後も緊密な連携を図りながら協議を進め、事業の円滑な進捗に努める。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
1	<p>(事業名) 耐震化促進事業</p> <p>【建築課】</p> <p>(事業目的) 長崎市市有建築物耐震化実施計画に基づき、市所有の特定建築物及び災害時の拠点となる建築物の計画的な耐震化の推進に積極的に取り組むため、「対象建築物」の年次計画等を具体的に定め耐震化を図る。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成21～令和2年度 【総事業量】特定建築物等数：294棟 対象建築物数：129棟 【総事業費】 1,842,465千円 【事業費累計】 856,962千円</p>	実施年度	平成21～令和2年度	
		成果指標	事業進捗率(改修棟数ベース)	
		目標値	92.4 %	93.4 %
		総事業進捗率	92.5 %	93.5 %
		達成率	100.1 %	100.1 %
		決算(見込)額	27,264,600 円	6,247,800 円
		当該年度執行率	100.0 %	100.0 %
		成果指標及び目標値の説明	「長崎市耐震改修促進計画」に基づき、平成21年2月に「長崎市市有建築物耐震化実施計画」を策定しているが、事業の進捗を客観的に判断できる数値として、耐震化対象建築物棟数に占める耐震性能保有棟数割合を事業進捗率とし、成果指標とした。年次計画等を具体的に定め令和2年度末までに耐震化率を95%以上とすることを目標としており、当該年度の事業進捗率を目標値とした。	
		取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 1件の耐震改修を実施した。また、用途廃止、新築、移転を各1件行った。</p> <p>(成果・課題等) 耐震化率は、「長崎市市有建築物耐震化実施計画」の耐震化目標値を上回った。</p>	<p>(取組実績) 1件の耐震改修を実施した。また、用途廃止、移転を各1件行った。</p> <p>(成果・課題等) 耐震化率は、「長崎市市有建築物耐震化実施計画」の耐震化目標値を上回った。</p>
		2	<p>(事業名) 市有建築物のバリアフリー促進事業</p> <p>【建築課】</p> <p>(事業目的) 災害時に拠点となる市有建築物について、だれもが使いやすい施設にするため、エレベーター設置などによりバリアフリー化を図る。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成28～令和2年度 【総事業量】対象建築物数：24施設 【総事業費】 480,000千円 【事業費累計】 70,186千円</p>	実施年度
成果指標	事業進捗率(改修棟数ベース)			
目標値	78.8 %			83.8 %
総事業進捗率	74.0 %			75.3 %
達成率	93.9 %			89.9 %
決算(見込)額	18,418,667 円			19,182,960 円
当該年度執行率	100.0 %			100.0 %
成果指標及び目標値の説明	施設のバリアフリー化については、エレベーター設置に併せてスロープや手すりの設置、トイレの改修を行うことから、災害時に地域の拠点となる公共施設のうち、エレベーターが設置されている施設の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。年間3施設程度の整備を実施した場合のエレベーター設置率を目標値とした。			
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 1件のエレベーター設置・機能移転を行った。</p> <p>(成果・課題等) 事業進捗率は、目標値を下回る結果となった。対象施設は、今後の利活用について検討中のものも多く、公共施設マネジメントと整合を図りながら、事業を推進していく必要がある。</p>			<p>(取組実績) 1件の施設を改修し、機能移転を行った。</p> <p>(成果・課題等) 事業進捗率は、目標値を下回る結果となった。対象施設は、今後の利活用について検討中のものも多く、公共施設マネジメントと整合を図りながら、事業を推進していく必要がある。</p>

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
3	(事業名) 【単独】庁舎等施設整備事業費 【財産活用課】 (事業目的) 本庁舎等の老朽化が進んでいる施設について、機能の保全と利用者の安全性確保のため施設整備を行う。 (事業概要) 【事業期間】平成30年度 【総事業量】 ・南総合事務所空調設備改修工事 ・式見合同庁舎屋上防水改修工事 ・伊王島地域センター受変電設備改修工事 ・旧南幼稚園外壁、屋上防水改修工事 ・戸石町岡自治会尾崎地区集会所 便所洋式化 改修工事 【総事業費】 56,148千円	実施年度	継続	
		成果指標	整備箇所	
		目標値	1 箇所	5 箇所
		実績値	1 箇所	5 箇所
		達成率	100.0 %	100.0 %
		決算(見込)額	11,614,320 円	56,147,969 円
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、本庁舎や総合事務所、地域センターなどの公共施設の整備箇所数を成果指標とした。緊急度や市民サービスへの影響、財政状況などを考慮した当該年度の整備箇所数の割合を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 三重地域センター外壁改修ほか工事を実施した。	(取組実績) 南総合事務所空調設備改修工事や式見合同庁舎屋上防水改修工事など5施設の施設整備を行った。		
	(成果・課題等) 三重地域センター外壁改修ほか工事によって施設利用者の安全性が向上した。	(成果・課題等) 施設整備により安全性や利便性が向上した。		
4	(事業名) 【補助】新市庁舎建設事業費 【大型事業推進室】 (事業目的) 現庁舎は、老朽化、耐震強度の不足、庁舎の分散などの多くの課題を抱えている。このような状況を踏まえて多面的な評価を行った結果、耐震化の方針として「建て替える」ことに決定した。 新市庁舎の建設にあたっては、周辺庁舎を含めた所属の集約を図り、市民の利便性の向上、業務環境の改善等を図るとともに、防災拠点としての必要な機能を確保する。また、まちづくりの観点から、つながりの拠点となり、まちの賑わいの創出を目指す。 (事業概要) 【事業期間】平成28～令和7年度 【主な事業内容】 ・基本、実施設計業務 ・建設工事 ・現庁舎解体工事 ・移転業務 ・公園、周辺道路整備工事 【総事業費】26,400,000千円 【事業費累計】607,469千円	成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	1.3 %	3.2 %
		総事業進捗率	0.9 %	2.3 %
		達成率	69.2 %	71.9 %
		決算(見込)額	207,674,187 円	374,648,525 円
		当該年度執行率	66.0 %	62.3 %
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし成果指標とした。当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ・基本設計委託業務の受注者決定及び基本設計業務の実施 ・シンポジウム、ワークショップ及びパブリック・コメントなどによる市民意見聴取の実施 ・埋蔵文化財調査、土質調査及び交通解析業務の実施	(取組実績) ・実施設計業務の実施 ・シンポジウム、障害者団体等の関連団体へのヒアリングなどの実施 ・埋蔵文化財調査の実施		
	(成果・課題等) 市民や市議会からいただいた意見を踏まえながら基本設計を進めることができた。 今後は、実施設計策定に向け、より詳細な検討を行っていく必要がある。 なお、埋蔵文化財調査委託等において入札差金が生じたことなどから、107,059千円を平成30年度へ通次繰越した。	(成果・課題等) シンポジウムや障害者団体等の関連団体へのヒアリングなどでいただいた意見、市議会での議論を踏まえながら、実施設計を進めることができた。 今後は、完了した実施設計を基に、建設工事に着手し、市民が利用しやすく、安全・安心の拠り所となる庁舎として、整備を着実に進めていく。 なお、国の交付金の追加内示に伴う事業が年度内に完了しない見込みであることから、68,070千円を令和元年度へ通次繰越した。		

令和元年度 個別施策評価シート

個別施策	E8-3 だれもが快適に利用できる公園への再整備を進めます		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 図	
	公園が	再整備により快適に利用されている。	
個別施策主管課名	中央総合事務所 地域整備1課	所属長名	田畑 徳明

平成30年度 of 取組概要

- ①安全で快適な公園の整備
 - ・立山公園などにおいて老朽化施設の再整備を行った。
 - ・男女兼用の便所を設置している場所に女性専用便所を増設した。
- ②多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備
 - ・三重公園などにおいて、老朽化した施設の撤去及び遊具やベンチ等の再整備を行った。
 - ・平和公園(市営陸上競技場)において、健康遊具の設置を行った。
 - ・天主公園において、地域住民が参加するワークショップ等により公園再整備の検討を行った。
- ③安全で快適な動線と滞在空間の確保
 - ・被爆75周年を前に平和公園地区の平和祈念像の塗装や平和の泉など整備を行った。

成果指標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R元	R2
再整備した公園数 【累計】	112箇所 (26年度)	↑ 目標値	118	121	124	127	130
		実績値	123	134	139		
		達成率	104.2%	110.7%	112.1%		

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
①安全で快適な公園の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・既設公園施設の老朽化施設の再整備により、安全で快適に利用できる公園が増加した。 ・4公園便所の男女別化により、安全性が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・再整備が進んだことにより、安全性が向上した。 ・便所の男女別化の推進により、安全性が向上した。
②多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備 <ul style="list-style-type: none"> ・三重公園などにおいて、老朽化した施設の撤去及び遊具やベンチ等の再整備を行ったことで、公園利用者の安全性と快適性が向上した。 ・平和公園(市営陸上競技場)に健康遊具を設置したことで、より多くの人を楽しめる公園となった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民ニーズに対応した再整備が進んだことにより、安全性と快適性が向上した。 ・市民ニーズに対応した魅力ある公園再整備が進んだことにより、満足度が向上した。
③安全で快適な動線と滞在空間の確保 <ul style="list-style-type: none"> ・被爆75周年を前に平和公園地区の平和祈念像の塗装や平和の泉など整備を行ったことで、多くの来訪者の安全で快適な動線が確保でき、観光都市長崎の魅力が向上した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・被爆都市長崎を象徴する公園の再整備が進んだことにより、市民や来訪者の満足度が向上した。

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
<p>①安全で快適な公園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 公園施設の維持管理費の低減を図るため、適切な点検や補修等の予防保全的管理を実施しているが十分対応できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の老朽化の進行に伴う維持管理費用が増加するが、限られた予算内での対応となるため優先順位が問題となる。
<p>②多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 再整備した公園数は目標値を達成しているが、多様な市民ニーズがある中で、健康遊具や複合遊具等の整備に十分対応できていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の老朽化の進行に伴う維持管理費用が増加するが、限られた予算内での対応となるため優先順位が問題となる。
<p>③安全で快適な動線と滞在空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光資源にもなっている公園においては、多くの来訪者が安全、快適に過ごせるための園路、広場の空間や景観、案内板等の施設への対応が十分にできていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 整備に必要な多大な経費を要するための財源の確保が問題となる。

今後の取組方針

<p>①安全で快適な公園の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者が安全に楽しく公園を利用できるよう、今後も老朽化した施設の再整備を推進する。 <p>②多様化した市民ニーズに対応できる公園への再整備</p> <ul style="list-style-type: none"> 幅広い年齢層に対応できるよう地域のニーズを把握しながら健康遊具や遊具等施設の再整備を検討し整備を行う。 <p>③安全で快適な動線と滞在空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の観光地や良好な夜景の視点場を有し、多くの方が利用する公園については、団体観光客等にも対応できるよう、安全で快適に移動できる施設の整備や園路等の景観の改善、案内板等の施設整備を行う。
--

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
1	(事業名) 【単独】公園施設整備事業費 小江原台近隣公園ほか 【単独】公園再整備事業費 立山公園ほか 【東総合事務所地域整備課】 (事業目的) 公園における園路の段差解消及び多目的便所の設置等、施設の改築・更新等を行うもの。 (事業概要) 【事業期間】平成21～令和2年度 【総事業量】65箇所 【事業量累計】60箇所 (決算(見込)額内訳) 東総合事務所 15,193,440円	実施年度	平成21～令和2年度	
		成果指標	事業進捗率(公園数)	
		目標値	56 箇所	59 箇所
		実績値	59 箇所	60 箇所
		達成率	105.4 %	101.7 %
		決算(見込)額	255,799,992 円	15,193,440 円
		成果指標及び目標値の説明	園路や便所のバリアフリー化整備、施設の改築・更新を実施した公園数の累計を成果指標とした。 直近値47箇所(平成26年度)から、平成32年度までに65箇所の整備を目標とし、平成30年度は59箇所を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 5公園のバリアフリー化を行った。 ・近隣公園 2箇所 ・街区公園 3箇所 (成果・課題等) 利用者の安全性及び利便性の向上が図られた。	(取組実績) 1公園のバリアフリー化を行った。 ・街区公園 1箇所 (成果・課題等) 利用者の安全性及び利便性の向上が図られた。		
2	(事業名) 【単独】公園施設整備事業費 小江原台近隣公園ほか 【単独】公園再整備事業費 立山公園ほか 【中央総合事務所地域整備2課】 【東総合事務所地域整備課】 【南総合事務所地域整備課】 (事業目的) 公園施設利用者の安全及び利便性の向上を図る。 (事業概要) 既設公園の老朽化した施設の改修等を行うもの。 【事業期間】昭和60～令和2年度 【総事業量】130箇所 【事業量累計】139箇所 (決算(見込)額内訳) 中央総合事務所 7,840,800円 東総合事務所 38,822,760円 南総合事務所 12,701,880円	実施年度	昭和60～令和2年度	
		成果指標	事業進捗率(公園数)	
		目標値	121 箇所	124 箇所
		実績値	134 箇所	139 箇所
		達成率	110.7 %	112.1 %
		決算(見込)額	291,705,117 円	59,365,440 円
		成果指標及び目標値の説明	遊具等の公園施設の再整備を実施した公園数の累計を成果指標とした。 直近値112箇所(平成26年度)から、平成32年度までに130箇所の整備を目標とし、平成30年度は124箇所を目標とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 11公園の整備を実施した。 ・特殊公園 1箇所 ・近隣公園 1箇所 ・街区公園 9箇所 (成果・課題等) 事業期間内で、予定箇所数を上回っている。	(取組実績) 5公園の整備を実施した。 ・街区公園 5箇所 (成果・課題等) 事業期間内で、予定箇所数を上回っている。		

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
3	<p>(事業名) 【単独】公園施設整備事業費 金比羅公園</p> <p>【土木建設課】</p> <p>(事業目的) 金比羅公園において、園路や駐車場の整備を行い、公園利用者の利便性の確保を図るとともに、身近に自然が感じられる公園としての機能向上を図るため整備を行うものである。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成22～令和3年度 【総事業費】588,000千円 【事業費累計】17,115千円</p>	実施年度	平成22～令和3年度	
		成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	3.6 %	12.9 %
		総事業進捗率	2.9 %	2.9 %
		達成率	80.6 %	22.5 %
		決算(見込)額	17,115,965 円	0 円
		当該年度執行率	80.7 %	0.0 %
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 工事L=59.5m</p> <p>(成果・課題等) 園路の起点側を拡幅したことにより、宅地までは円滑に通行できるようになった。</p>	<p>(取組実績) 工事予定箇所の隣接地権者との協議及び調整を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 工事着手に際し、隣接地権者との調整に不測の日数を要したことから、22,000千円を繰り越した。 今後も関係地権者との調整を行いながら、事業進捗を図る。</p>		
4	<p>(事業名) 【単独】公園施設整備事業費 稲佐山公園(スロープカー整備)</p> <p>【土木建設課】</p> <p>(事業目的) 平成24年10月の長崎市の世界新三大夜景都市認定を受け、稲佐山公園の山頂展望台への来訪者増加に適切に対応するため、中腹駐車場から山頂までのアクセス向上による利便性と快適性の向上を図るため整備を行うものである。</p> <p>(事業概要) 【事業期間】平成28～令和元年度 【総事業費】1,992,000千円 【事業費累計】1,206,529千円</p>	実施年度	平成28～令和元年度	
		成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	34.3 %	63.4 %
		総事業進捗率	33.7 %	60.6 %
		達成率	98.3 %	95.6 %
		決算(見込)額	670,788,000 円	535,741,360 円
		当該年度執行率	98.3 %	90.5 %
		成果指標及び目標値の説明	事業の進捗を客観的に判断できる数値として、総事業費に占める事業費累計の割合を事業進捗率とし、成果指標とした。 当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) スロープカー整備工事(土木工事含む)L=500m 駅舎新築工事1件 スロープカーデザイン業務委託1件</p> <p>(成果・課題等) スロープカー整備箇所の地形が急峻で険く、難工事になるため、日常的な工事の進捗管理と工程管理に努める必要がある。</p>	<p>(取組実績) スロープカー整備工事(土木工事含む)L=500mと駅舎新築工事1件を実施した。</p> <p>(成果・課題等) 駅舎新築工事に必要な高力ボルトの全国的な需要過多により、工期を平成31年7月から令和2年1月へ延長した。 今後も進捗管理に努め、スロープカーの早期完成を図る。</p>		

令和元年度 個別施策評価シート

個別施策	E8-4 地域環境美化を推進します		
施策の目的 (対象と意図)	対 象	意 象 図	
	市民と行政が	協働して地域の環境美化を進めている。	
個別施策主管課名	廃棄物対策課	所属長名	樋口一成

平成30年度 of 取組概要

- ①市民環境美化活動の推進
- ・企業や市民団体等の里親と新たに協定を締結し、アダプトプログラムの手法を用いて環境美化活動を行った。また、ボランティア清掃に対してごみ袋の支給やごみ収集車の手配等の支援を行った。
 - ・「街を美しくする運動」推進協議会においては、市民大清掃や緑化事業等を行った。
 - ・花のあるまちづくり事業において、年間を通じて楽しめる四季折々の花を、道路花壇、フラワーポット、地域センター管内における花壇に植栽し維持管理を行うとともに、地元自治会やボランティア団体に対して花苗を配布した。また、ながさきグリーンキャンペーンを3月に浜町ベルナード観光通りで開催し、緑化推進に係る広報・啓発活動を行った。【D1-3へ再掲】
- ②環境美化意識の向上
- ・ごみの散乱の防止及び喫煙の制限にかかる取組みとして、ポイ捨て・喫煙禁止地区において、警察OBによる巡回及び違反者への指導を行ったほか、看板、路面シートなどによる周知啓発活動を実施するとともに、市のホームページに「ポイ捨て・喫煙禁止地区」の詳細地図を掲載し、周知を図った。また、禁止地区外においても、市民からの要望があった地域において、健康づくり課と合同で灰皿の撤去やポスター掲示の協力依頼を行った。

成 果 指 標

※「↑」は目標値を上回ることが望ましい指標、「↓」は目標値を下回ることが望ましい指標

指 標 名	基準値 (時期)	区 分	H28	H29	H30	R元	R2
アダプトプログラムの里親数【累計】	142団体 (26年度)	↑ 目標値	150	154	158	162	166
		実績値	151	153	160		
		達成率	100.7%	99.4%	101.3%		
花苗等配布数	129,500株 (26年度)	↑ 目標値	132,000	133,300	134,600	135,900	137,000
		実績値	172,400	181,500	182,000		
		達成率	130.6%	136.2%	135.2%		

評価(成果と効果)

取組みによる成果	5年後にめざす姿に対する効果
<p>①市民環境美化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムの里親数については、これまでのホームページ等による周知活動により、制度の認知が進み里親の登録数は増え、環境美化に対する企業や自治会等の実践活動が広がっている。【D5-2へ再掲】 ・市民大清掃をはじめ、様々なボランティア清掃活動により、環境美化を図り、美しいまちづくりに寄与した。 ・花のあるまちづくり事業において、道路花壇114箇所924㎡、フラワーポット25箇所331基、地域センター管内における花壇47箇所6,081㎡に植栽し維持管理を行った。また地元自治会やボランティア団体に対して314件182,000株の花苗を配布した。【D1-3へ再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムの周知活動により制度が広く認知されたことにより里親数も増え、地域の環境美化に対する市民の意識高揚が図られた。【D5-2へ再掲】 ・市民大清掃をはじめとする環境美化運動やグリーンキャンペーンなどの緑化花いっぱい運動により、市民参加のもとに、緑と花があふれるごみのない美しい郷土長崎の街づくりの推進が図られた。 ・回遊空間の環境美化が図られた。また、自治会やボランティア団体への花苗等の配布数が増加し、目標値を上回ったことから、地域の環境美化活動や緑化推進に関する市民意識が高まった。【D1-3へ再掲】
<p>②環境美化意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光客の増加や市民からの苦情・要望により、人通りや違反者の多い地区を重点的に巡回を行うなど、指導及び周知啓発活動を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・禁止地区において、指導員による巡回/パトロールによる違反者への指導や周知啓発活動により、違反者数が減少した。

評価(問題点とその要因)

5年後にめざす姿に対する問題点	問題点の要因
<p>①市民環境美化活動の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アダプトプログラムについては、これまでの広報紙をはじめとした周知活動により制度が広く認知され、里親の登録数は増えているが、近年脱退する団体が見受けられる。 ・「街を美しくする運動」推進協議会は官民で組織されている団体であるが、一体となつての活動の活性化が必要な状況となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治体やボランティア団体においては、構成員の高齢化により、企業においては、事業所の閉鎖等が要因となっている。 ・昭和48年度設立以来、構成員や事業の大きな見直しが行われておらず、活動を活性化させる取り組みが進んでいない。
<p>②環境美化意識の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨て・喫煙禁止条例の周知・啓発を行っているが、依然として、ポイ捨てや屋外の公共の場所で喫煙をしている行為者が見受けられる。 ・喫煙については、条例の趣旨から、灰や吸い殻のポイ捨てを防ぐ環境美化の向上の面から指導を行っているが、たばこの煙による受動喫煙に関する苦情や要望が増えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・違反者への指導の際は、その場で喫煙を止めるが、その指導効果が継続しないと考えられる。また、屋内の禁煙化が進み、喫煙場所が無いことが要因の一つと考えられる。

今後の取組方針

①市民環境美化活動の推進

・アダプトプログラム及びボランティア清掃については支援を継続し、更なる制度の周知を行うとともに、今後も継続して里親団体の登録増に努める。併せて、自治会やボランティア団体においては構成員の高齢化、企業においては事業の廃止・縮小により脱退が今後とも増加することが見込まれるため、関係課と連携しての協力体制の構築及び清掃回数の弾力的な運用を図り、継続して活動できる環境づくりに努める。

・「街を美しくする運動」推進協議会については、新たに作成した児童生徒のボランティア清掃用ゴミ袋「長崎ごみぶくろ」を周知し、環境美化とボランティアの意識高揚を図っていく。

・花のあるまちづくり事業において、自治会等地域団体と協働した環境美化を進めるとともに、継続して緑化エリアの拡大を図る。【D1-3へ再掲】

②環境美化意識の向上

・「ポイ捨て・喫煙禁止条例」の周知徹底に向けて、違反者の多い地区や市民からの苦情・要望があった地域を中心に巡回指導等を継続して実施する。また、看板・路面シート等の表示を増設するとともに、外国人観光客への周知・啓発の強化を引き続き行う。さらに、健康づくり課と連携して、受動喫煙が及ぼす健康被害についても、喫煙者の意識に働きかけを行っていく。

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
1	<p>(事業名) 市民協働環境美化推進費</p> <p>【廃棄物対策課】</p> <p>(事業目的) 市民一人ひとりの環境美化の意識を高め、ごみの散乱をなくし、生活環境の保全を図り、快適な生活を実現する。</p> <p>(事業概要) アダプトプログラムの手法を用いて、市民と協働した環境美化活動を行い、また、ボランティア清掃に対するごみ袋の支給等の支援を行う。</p>	実施年度	継続	
		成果指標	アダプトプログラムの里親数	
		目標値	154 団体	158 団体
		実績値	153 団体	160 団体
		達成率	99.4 %	101.3 %
		決算(見込)額	2,518,904 円	2,813,296 円
		成果指標及び目標値の説明	<p>地域環境美化の推進には、市民による環境美化活動が不可欠であるため、アダプトプログラムの里親数を成果指標とした。</p> <p>平成26年度末登録里親団体数から年間4団体増を目標値として、設定しており、平成29年度末は154団体としている。</p>	<p>地域環境美化の推進には、市民による環境美化活動が不可欠であるため、アダプトプログラムの里親数を成果指標とした。</p> <p>平成26年度末登録里親団体数から年間4団体増を目標値として、設定しており、平成30年度末は158団体としている。</p>
取組実績、成果・課題等	<p>(取組実績) 企業や市民団体等の里親と協定を締結し、アダプトプログラムの手法を用いて、環境美化活動を行った。また、ボランティア清掃に対してごみ袋の支給やごみ収集車の手配等の支援を行った。</p> <p>(成果・課題等) ホームページ等により周知活動を行ったこと等により、企業等の意識向上と事業の認知が進み里親の新規登録数は8団体あったが、脱退する里親団体が6団体あったため目標数は達成できなかった。 引き続き周知活動を行い里親団体の登録増を目指すとともに、登録済みの里親団体の脱退が増加しているため、継続して活動できる対応策を講じる必要がある。</p>	<p>(取組実績) 企業や市民団体等の里親と協定を締結し、アダプトプログラムの手法を用いて、環境美化活動を行った。また、ボランティア清掃に対してごみ袋の支給やごみ収集車の手配等の支援を行った。</p> <p>(成果・課題等) ホームページ等により周知活動を行ったこと等により、企業等の意識向上と事業の認知が進み里親の新規登録数は7団体あり、目標数は達成できた。 引き続き周知活動を行い里親団体の登録増を目指すとともに、登録済みの里親団体が継続して活動できる対応策を講じる必要がある。</p>		

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成29年度	平成30年度
2	<p>(事業名) ポイ捨て等防止対策費</p> <p>【廃棄物対策課】</p> <p>(事業目的) 地域環境美化を図るとともに、快適な生活環境と良好なまちづくりに資する。</p> <p>(事業概要) 指定地区内の巡回指導を行うとともに、広報啓発活動等を行う。</p>	実施年度	継続	
		成果指標	ポイ捨て・喫煙禁止地区における指導件数	
		目標値	460 件	660 件
		実績値	696 件	563 件
		達成率	48.7% %	114.7% %
		決算(見込)額	3,795,551 円	3,093,028 円
		成果指標及び目標値の説明	<p>ごみの散乱の防止に向けて、ポイ捨て・喫煙禁止条例の徹底が必要であるため、ポイ捨て・喫煙禁止地区における指導件数を成果指標とした。</p> <p>基準値484件(平成28年度)から毎年対前年比5%減を目標とし、平成29年度は460件を目標とした。</p>	<p>ごみの散乱の防止に向けて、ポイ捨て・喫煙禁止条例の徹底が必要であるため、ポイ捨て・喫煙禁止地区における指導件数を成果指標とした。</p> <p>基準値696件(平成29年度)から毎年対前年比5%減を目標とし、平成30年度は660件を目標とした。</p>
取組実績、成果・課題等	(取組実績) ポイ捨て・喫煙禁止地区に看板・路面シート等を設置し周知を行った。また、警察OBを配置し、禁止地区の巡回・指導を行った。	(取組実績) ポイ捨て・喫煙禁止地区に看板・路面シート等を設置し周知を行った。また、警察OBを配置し、禁止地区の巡回・指導を行った。		
	(成果・課題等) 目標を達成することはできなかったが、観光客の増加や市民からの要望により、人通りや違反者の多い地区を重点的に巡回するなど、巡回による違反者への指導及び周知活動を行うことができた。今後とも増加している外国人観光客に対する周知・啓発を強化していく。	(成果・課題等) 人通りや違反者の多い地区を重点的に巡回するなど、巡回による違反者への指導及び周知活動を行うことができた。今後とも増加している外国人観光客に対する周知・啓発を強化していく。		
3	<p>(事業名) 花のあるまちづくり事業費</p> <p>【中央総合事務所地域整備1課】 【中央総合事務所地域整備2課】 【南総合事務所地域整備課】 【北総合事務所地域整備課】 【土木総務課】 【D1-3へ再掲】</p> <p>(事業目的) 市民とともに緑を増やし、まちの緑化を推進する。</p> <p>(事業概要) 年間を通じて楽しめる四季折々の花を市街地の主要な観光ルートの道路花壇等に植栽する。また、花苗等を地元自治会やボランティア団体に配布して、道路花壇や公園花壇等に植栽する。</p> <p>(決算(見込額)額内訳) 中央総合事務所 56,236,751円 南総合事務所 10,167,267円 北総合事務所 3,990,873円 土木総務課 525,982 円</p>	実施年度	継続	
		成果指標	花苗等配布数	
		目標値	133,300 株	134,600 株
		実績値	181,500 株	182,000 株
		達成率	136.2 %	135.2 %
		決算(見込)額	72,724,823 円	70,920,873 円
		成果指標及び目標値の説明	<p>市民と行政の協働により花苗等を植栽し、地域の環境美化を図ることから、自治会等への花苗等配布株数を成果指標とした。</p> <p>基準値129,500株(平成26年度)から毎年約1%増を目標とし、平成30年度は約4%増(134,600株)を目標値とした。</p>	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) 道路花壇114箇所924㎡、フラワーポット31箇所369基、行政センター管内における花壇47箇所6,081㎡において花を植栽し管理を行った。 また、自治会やボランティア団体に対して、367件、181,500株の花苗を配布し、植栽した。	(取組実績) 道路花壇114箇所924㎡、フラワーポット25箇所331基、地域センター管内における花壇47箇所6,081㎡において花を植栽し管理を行った。 また、自治会やボランティア団体に対して、314件、182,000株の花苗を配布し、植栽した。		
	(成果・課題等) 回遊空間の環境美化や緑化エリアの拡大が図られ、また、自治会等に対する花苗等の配布数が増加し、市民と共に緑を増やすことができた。	(成果・課題等) 回遊空間の環境美化や緑化エリアの拡大が図られ、また、自治会等に対する花苗等の配布数が増加し、市民と共に緑を増やすことができた。		